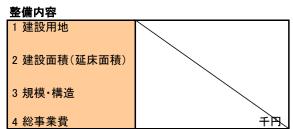
事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

	т П		名	称		区分	コード	名 称						
事業名	120_1	和士門六	汝惟准审業/+	-油士しの六法)		会計	01	一般会計						
尹未石	120-1	都市間交流推進事業(大津市との交流)				款	02	総務費						
基本	54	地域姿活	たほかして 出	地域し六法士で		項	01	総務管理費						
施策	34	地以貝瓜	地域資源を活かして、他地域と交流する					文化振興費						
施策	-1	地域間交流の推進				細目	103	都市間交流推進事業						
旭 宋	ı	地域间交流の推進 				細々目 01 都市間交流推進事業								
基本	計画該	当頁		186	行	革大綱	の重点	点事項番号		7				
担当部課		040200			評価者		森本 勝美	連絡先	22 -	9624				
担当即床	名称		企画振興部	部文化国際課		氏 名		林平 勝天	建裕元	(内線)	2120			

車業の計画・内容

事業	の計画	<u>·内容</u>											
			対象	象等(何る	を、誰を)			成果(どうなるのか)					
事業目的	大津市			スタ(伊賀	買市民打ち上	げ花火大会)来	芭蕉ゆ	かりの地との交流を広げることができる。					
		(※対象	件数)							
根	根拠法令·要綱等												
開始	始年度	平成	6	年度	関連事業								
終	了年度	平成		年度	因廷爭木								
事業内容	市民連加した。	を結成し	、びわ沽タに盆踊	明大津夏 り大会る	まつり江州音	の参加により伊 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	状況	17年度は、にぎわいフェスタ前夜祭に花火とともに開催していた盆踊りが、花火中止に伴い、にぎわいフェスタ当日に開催することとなり、担当課が平成18年度から文化国際課となった。平成20年度からは市民打ち上げ花火大会とともに開催する。					



連宮体制			
1 運営主体	直営	□指定管理	□民間委託等
委託先			
2 配置(予定)人員			人
3 年間運営費			一
4 市内の類似施設			

事業類型 I ソフト事業 事業種別 継続 単独

于不大慎									
活動指標	単位		実終	責値	目標値				
冶 期徂保	半四		H18		H19	H20	H21		
市民打ち上げ花火実行委員会(H19までにぎ		目標	5	目標	5	5	5		
わいフェスタワーキング部会)	Ш	実績	10	実績	9	3	3		
盆踊り大会出場者説明会		目標	1	目標	1	1	-		
血岬9人云山场日就明云	凹	実績	1	実績	1	'	'		
		目標	_	目標					
		実績		実績					

2次評価対象分

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実	績値	目標値		
争未の成未を則る相信	相保設足の考え力	丰位	H18	H19	H20	H21	
参加人数(大津市から伊賀市)	参加人数を増やすことにより、交流が広が	1	目標 35	目標 35	35	35	
参加入数(入岸川からげ貝川)	る。	^	実績 27	実績 27	ან	აა	
参加人数(伊賀市から大津市)	参加人数を増やすことにより、交流が広が	1	目標 35	目標 35	35	35	
参加人数(伊負用から人)年刊/	る。	^	実績 41	実績 38	33	33	

評価		
評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	芭蕉翁生誕350年記念を契機に芭蕉ゆかりの大津市と江州音頭盆踊りを通じて交流することにより、伊賀市をPRできる。
有効性	2	松尾芭蕉を通して、大津市と伊賀市の両都市間または両市民間の友好が深まった。にぎわいフェスタの中の盆踊りで、 大津市との交流が図れたが対象者が参加者に限られている。
達成度	4	計画どおり達成できた。
効率性	4	コストの削減の余地がない。本年度は地元企業の協賛が得られた。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
С	現状維持	大津市は松尾芭蕉に縁の深い都市であるため交流を継続したいが、対象者の範囲が限られているため事業の見直しを検討したい。 しかし、伊賀市の意向だけで交流をただちに廃止するということはできないので、今後協議を行い、交流の見直しをしたい。

	年度				8年度	5 決算内	内容	平成19	9年度	E 決算内	内容	平成2	0年度	計画	内容	平成21	1年度	計画内容	容	平成22	年度	計画内容	平成	23年	度 計画内	内容
	十尺			事 業 内 容	数量	単位	金 額	事 業 内 容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事 業 内 容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位 金	額事業内容	ター数量	量 単位	金 額
進		, \ ,					(千円)				(千円)				(千円)				(千円)				(千円)			(千円)
~ :	委託			旅費			11	報償費			5	報償費			105	報償費			105	報償費			105 報償費			105
捗				消耗品費			80	旅費			11	旅費			10	旅費			10	旅費			10 旅費			10
			争	食糧費			91	消耗品費ほか			76	消耗品費ほか			79	消耗品費ほか			79	消耗品費ほか			79 消耗品費ほ	か		79
状 :	工事		未	手数料			63	食糧費			124	食糧費			100	食糧費			100	食糧費			100 食糧費			100
			容	傷害保険料			17	手数料			113	手数料			194	手数料			194	手数料			194 手数料			194
況				自動車借上料			83	傷害保険			12	傷害保険			19	傷害保険			19	傷害保険			19 傷害保険			19
								委託料			142	委託料			142	委託料			142	委託料			142 委託料			142
								機械器具借上料等			80	機械器具借上料等	:		90	機械器具借上料等			90	機械器具借上料等			90 機械器具借上料	等		90
進捗	率							自動車借上料			83	自動車借上料			83	自動車借上料			83	自動車借上料			83 自動車借上	料		83
(%	5)			事業費計(A)		Σ	345	事業費計(A)		Σ	646	事業費計(A)		Σ	822	事業費計(A)		Σ	822	事業費計(A)		Σ	822 事業費計(A)	Σ	822
		事業投入人員		人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	. .	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880 人件費(B)	0.	4 人	2,880
	フノ	ルコスト (A)+(B)					3,225			-	3,526		-		3,702				3.702	-			3,702			3,702

事業費(人件費除く)の財源内訳

<u> </u>	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・													
(A)	事業費	345	646	822	822	822	822							
•	国庫支出金													
A	県 支 出 金													
の	地方債													
海	受益者負担													
内	その他													
訳	一 般 財 源	345	646	822	822	822	822							
ш	計	345	646	822	822	822	822							
借	その他特定財源の名称・補助基本額・													
老	率													
-73	平 地方債の区分と充当率等													